

東京都の農林水産業の概要

特徴・取組

東京都は関東平野に位置し、西から山地、丘陵、台地と続く多摩地域、台地と低地に分かれ東京湾に臨む区部、伊豆諸島・小笠原諸島の島しょ部の3地域からなっている。気候の特徴は、夏の高温多湿と冬の小雨乾燥の太平洋岸気候区に分類される。島しょ部は多湿で雨が多く、台風の影響を多く受ける。面積は小さい方から全国第3位となっている。

東京都には多くの企業が集積し、事業所数が約62万所で全国の11.6%を占めている。資本金10億円以上の企業数は全国の半数を占める一方で、都内企業の98.8%が中小企業となっている。

東京都の農林水産業は、大消費地に近い立地条件を活かし、多種多様な農林水産物を生産している。都市部では狭小な農地を最大限に活用した施設で収益性の高い農業が展開されている。農畜産物の出荷先は、市場出荷はもとより、消費者への直接販売（農産物直売所・庭先販売・マルシェ等）や、学校給食・レストランへの供給など様々な販路がある。生産者の顔が見える新鮮で安全安心な地場産の農畜産物を都民に提供するとともに、生活環境に潤いと安らぎを与え、災害時の避難場所としての防災機能や児童・生徒の食育等の教育機能等の多面的な機能を有している。

世界的に食の安全や環境保全、労働安全などに配慮した農業が求められる中、東京都では、土づくりや化学肥料低減に取り組んで生産される農産物を認証する「東京都エコ農産物認証制度」を平成25年度から始めている。

東京都は、東京農業の新たな担い手を確保・育成するために令和2年度に「東京農業アカデミー八王子研修農場」を開設。また、東京農業に高い関心を持つ都民は「広域援農ボランティア」として各地域の農業現場で活躍している。

TOKYOブランドの農畜産物として、豚「TOKYO X（エックス）」、鶏肉「東京しゃも」（令和元年G I登録）、露地栽培に適したイチゴ「東京おひさまベリー」があり、新品種の開発や生産・販売・PR活動に取り組んでいる。

主な農林水産物

こまつな

江戸発祥で、八代将軍・徳川吉宗公が鷹狩で訪れた小松川村の名にちなみ命名したといわれる。
(収穫量全国4位)



キャベツ

日本に導入されたのは、明治初年で、葛飾の篤農家が品種改良を重ね、広まった。



うど(伏込み)

江戸時代から生産されている伝統的ブランド野菜。柔らかく生産する軟化技術は、市場から高い評価を受けている。
(収穫量全国5位)



日本なし

栽培面積は稲城(いなぎ)市が最も多い。「稲城」という品種は果実は600g以上あり大果で、甘み、果汁ともに多い。



トマト

近年は環境制御システムを導入したハウスでの水耕栽培が人気。長期間の収穫が可能となり、高い収益性が期待できる。



豚(TOKYO X)

平成9年に東京都畜産試験場(現:東京都農林総合研究センター)が開発。霜降りの柔らかい肉質、優れた味わい、良質な脂肪が特徴。



切り葉(切り花類)

伊豆諸島の温暖な気候を活かし、フェニックス・ロベレニーなど年間を通して生産。全国出荷量の31%を占める。
(出荷量全国1位)



アシタバ

伊豆諸島等に自生するセリ科の野菜。生葉の出荷のほか、粉末やアシタバ茶などの加工品もあり、健康野菜として人気。



かつお類

黒潮の影響によって、我が国有数の好漁場が形成され、全国2位の漁獲量を誇る。八丈島の樽鰹は島のブランド。



きんめだい

水深200~800mに生息。金色の大きな目が特徴。鯛とは別の仲間。神津(こうづ)島、八丈島を筆頭に伊豆諸島全域で漁獲。



東京都内の各地域における農林水産物

西多摩地域

【農畜産物】スイートコーン、ばれいしょ、トマト、だいこん、うめ、くり、茶、シクラメン、豚、鶏卵
 【林産物】わさび
 【水産物】やまめ、いわな、にじます、あゆ

北多摩地域

【農産物】こまつな、トマト、ほうれんそう、キャベツ、にんじん、うど、ブロッコリー、日本なし、ブルーベリー、花壇用苗もの

区部地域

【農産物】こまつな、トマト、えだまめ、キャベツ、だいこん
 【水産物】あなご、あさり、しじみ

南多摩地域

【農畜産物】トマト、ばれいしょ、ほうれんそう、だいこん、日本なし、ぶどう、ブルーベリー、生乳、豚
 【林産物】しいたけ
 【水産物】あゆ

小笠原地域

【農産物】トマト、パッションフルーツ、レモン
 【水産物】かじき類、まぐろ類、いか類

大島地域

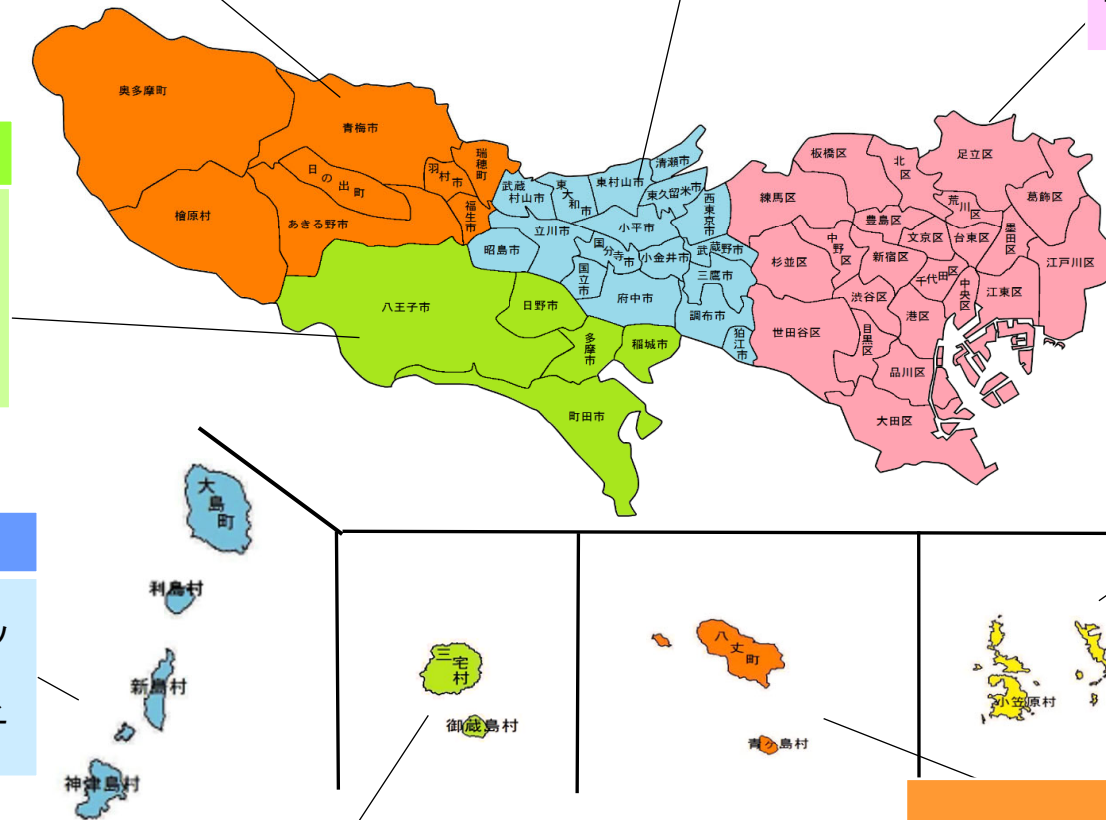
【農産物】アシタバ、かんしょ、切り葉、切り花、パッションフルーツ
 【水産物】きんめだい、たかべ、いさき、いせえび、てんぐさ、さざえ

八丈地域

【農産物】アシタバ、切り葉、切り花、観葉植物、パッションフルーツ、レモン
 【水産物】きんめだい、とびうお、むろあじ、かつお類

三宅地域

【農産物】アシタバ、さといも、切り葉、パッションフルーツ
 【水産物】まぐろ類、きんめだい、むろあじ、てんぐさ



出典：東京都産業労働局「とうきょうを
 食べよう野菜・果樹ガイド」「東京の水
 産業とは(HP)」等を基に作成

東京都の農業（1）

- ・耕地面積は6,410haで、そのほとんどが畑。
- ・農業経営体数は5,117経営体で、総農家数は9,567戸、そのうち販売農家数は4,606戸。
- ・認定農業者数は1,681経営体で、全国第37位。

耕地面積

区分	東京都	全国	全国順位
耕地面積	6,410 ha	4,349,000 ha	47
田	223 ha	2,366,000 ha	47
畑	6,180 ha	1,983,000 ha	40
普通畑	4,670 ha	1,126,000 ha	35
樹園地	1,450 ha	263,200 ha	40
牧草地	62 ha	593,400 ha	39
参考) 総土地面積	219,405 ha	37,797,463 ha	45

出典：「令和3年耕地面積(7月15日現在)」、「令和3年全国都道府県市区町村別面積調」(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

区分	東京都	全国	全国順位
荒廃農地面積	3,096 ha	281,831 ha	31

出典：「令和2年の都道府県別の荒廃農地面積」

担い手への農地の集積状況

区分	東京都	全国	全国順位
担い手への集積面積	1,601 ha	2,535,115 ha	46
集積率	24.5 %	58.0 %	42

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和2年度版)」

注：農地中間管理機構を介さないものを含む。
令和3年3月末の数値である。

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区分	東京都	全国	全国順位
農業経営体数	5,117 経営体	1,075,705 経営体	47
法人経営体	71 経営体	30,707 経営体	47
総農家数	9,567 戸	1,747,079 戸	47
販売農家	4,606 戸	1,027,892 戸	47
参考) 世帯総数	7,227,180 世帯	55,830,154 世帯	1
集落営農数	- 集落営農	14,490 集落営農	-

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「集落営農実態調査(令和3年2月1日現在)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区分	東京都	全国	全国順位
基幹的農業従事者数	7,974 人	1,363,038 人	47
男	5,072 人	822,144 人	47
女	2,902 人	540,894 人	45
65歳以上	4,571 人	948,621 人	47
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	57.3 %	69.6 %	-
認定農業者数	1,681 経営体	233,806 経営体	37
法人数	30 法人	26,080 法人	47
参考) 総人口数	14,047,594 人	126,146,099 人	1

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和2年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

東京都の農業（2）

- ・農業産出額は229億円で全国第47位。内訳は野菜が129億円、果実が32億円、花きが32億円。
- ・農畜産物の生産状況は、切り葉（切り花類）、ブルーベリーが全国第1位、パッションフルーツが3位、こまつなが4位。
- ・農業者等による生産関連事業は、農家レストランの年間販売金額が全国第3位、農産加工が6位。

農業産出額

区分	東京都	全国	全国順位
農業産出額	229 億円	89,557 億円	47
米	1 億円	16,551 億円	47
麦類	x 億円	521 億円	- *
雑穀	0 億円	77 億円	42
豆類	0 億円	712 億円	46
いも類	10 億円	2,391 億円	25
野菜	129 億円	22,520 億円	39
果実	32 億円	8,741 億円	42
花き	32 億円	3,080 億円	31
工芸農作物	1 億円	1,553 億円	43
その他作物	x 億円	697 億円	- *
畜産	20 億円	32,279 億円	46
肉用牛	2 億円	6,863 億円	46
乳用牛	12 億円	9,310 億円	45
生乳	10 億円	7,798 億円	45
豚	2 億円	6,596 億円	45
鶏	2 億円	8,724 億円	46
鶏卵	2 億円	4,577 億円	46
ブロイラー	- 億円	3,621 億円	- *
その他畜産物	1 億円	787 億円	36
加工農産物	0 億円	436 億円	45

出典：「令和2年生産農業所得統計」

注：1 「全国」の値は、都道府県別に推計した農業産出額を合計した値であり、全国推計した農業総産出額とは一致しない。

2 「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

農畜産物の生産状況

区分	年次	東京都	全国	全国順位	
切り葉（切り花類）	出荷量	R2	28,800 千本	91,900 千本	1
ブルーベリー	収穫量	元	372 t	2,394 t	1
パッションフルーツ	収穫量	元	70 t	466 t	3
こまつな	収穫量	R2	8,320 t	121,900 t	4
うど（伏込み）	収穫量	H30	46 t	1,548 t	5 *
カリフラワー	収穫量	R2	583 t	21,000 t	10
ギンナン	収穫量	元	13 t	1,102 t	12
レモン	収穫量	元	31 t	10,433 t	13
くり	収穫量	R2	235 t	16,900 t	18
かぶ	収穫量	R2	1,820 t	104,800 t	14
ブロッコリー	収穫量	R2	2,050 t	174,500 t	16
にんじん	収穫量	R2	2,840 t	585,900 t	17

出典：「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「特産果樹生産動態等調査」、「地域特産野菜生産状況調査」、「花き生産出荷統計」

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

農業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区分	東京都	全国	全国順位	
農産加工	総額	41,862 百万円	946,841 百万円	6
	事業体数	200 事業体	32,400 事業体	46
農産物直売所	総額	16,327 百万円	1,053,366 百万円	29
	事業体数	650 事業体	23,650 事業体	13
農家レストラン	総額	1,974 百万円	35,696 百万円	3 *
	事業体数	30 事業体	1,360 事業体	13 *

出典：「令和元年度6次産業化総合調査」

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

東京都の林業

- ・ 林野面積は7万7,125haで全国第46位。林業経営体数は152経営体で42位。
- ・ 林業産出額は3.4億円で全国第46位。内訳は、木材生産が1.9億円、栽培きのこ類生産が1.5億円。
- ・ 林産物の生産状況は、つばき油が全国第2位、わさび葉柄が6位、わさび根茎が4位。

林野面積

区分	東京都	全国	全国順位
林野面積	77,125 ha	24,770,201 ha	46
国有林	5,924 ha	7,153,338 ha	46
私有林	71,201 ha	17,616,863 ha	46
人工林面積	35,158 ha	10,203,842 ha	44

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「森林資源の現況(平成29年3月31日現在)」

林業経営体数

区分	東京都	全国	全国順位
林業経営体数	152 経営体	34,001 経営体	42
法人経営体	38 経営体	4,093 経営体	37

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

林業産出額

区分	東京都	全国	全国順位
林業産出額	3.4 億円	4,286.4 億円	46
木材生産	1.9 億円	1,943.7 億円	43
栽培きのこ類生産	1.5 億円	2,259.6 億円	46

出典：「令和2年林業産出額」

注：「全国」の値は、都道府県別に推計した林業産出額を合計した値であり、全国推計した林業産出額とは一致しない。

林産物の生産状況

区分	東京都	全国	全国順位
素材生産量	28 千m ³	19,882 千m ³	43
針葉樹	25 千m ³	18,037 千m ³	43
からまつ	1 千m ³	2,008 千m ³	14
ひのき	10 千m ³	2,722 千m ³	30
広葉樹	3 千m ³	1,845 千m ³	40
つばき油	生産量 9 キロリットル	42 キロリットル	2
わさび葉柄	生産量 21 t	1,567 t	6
わさび根茎	生産量 9 t	450 t	4
薪	生産量 587 t	83,536 t	24 *
ひらたけ	生産量 2 t	3,824 t	26 *

出典：「令和2年木材需給報告書」、「令和2年特用林産基礎資料」

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

製材工場数

区分	東京都	全国	全国順位
工場数	18 工場	4,115 工場	46
製材用素材の入荷があった工場数	18 工場	4,067 工場	46
国産材のみ	16 工場	3,237 工場	44
国産材と輸入材	1 工場	653 工場	42

出典：「令和2年木材需給報告書」

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

東 京 都 の 漁 業

- ・海面漁業・養殖業産出額は208億円で全国第22位。
- ・水産物の生産状況は、海面漁業漁獲量が全国第19位で、かつおが2位、きはだが3位。
- ・漁業者等による生産関連事業は、漁家民宿の年間販売金額が全国第10位、経営体数が8位。

漁船隻数

区 分	東 京 都	全 国	全国順位
漁船隻数	548 隻	132,201 隻	35
動力漁船	429 隻	69,920 隻	33

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

注：漁船隻数は、海面漁業経営体が漁業生産のために使用した漁船の数である。

漁業経営体数

区 分	東 京 都	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	512 経営体	79,067 経営体	35
内水面漁業経営体数	19 経営体	4,772 経営体	41

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

漁業就業者数

区 分	東 京 都	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	896 人	151,701 人	36
男	871 人	134,186 人	36
女	25 人	17,515 人	36

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

漁業産出額

区 分	東 京 都	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	208 億円	13,484 億円	22

出典：「令和元年漁業産出額」

水産物の生産状況

区 分	東 京 都	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	x t	4,182,983 t	- *
海面漁業漁獲量	45,535 t	3,213,334 t	19
かつお	29,066 t	187,936 t	2 *
きはだ	7,729 t	64,494 t	3 *
内水面漁業・養殖業生産量	95 t	50,832 t	32 *
内水面漁業漁獲量	61 t	21,745 t	22 *
しじみ	26 t	8,894 t	10 *
内水面養殖業収穫量	34 t	29,087 t	34 *
にじます	20 t	3,858 t	18 *

出典：「令和2年漁業・養殖業生産統計」

注：1 海面漁業・養殖業生産量は、当該都道府県に所在する漁業・養殖業経営体の生産量である。

2 「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

3 東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所事故の影響を受けた区域において、同事業の影響により出荷制限又出荷自粛の措置がとられたものについては、生産量に含めていない。

漁業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区 分	東 京 都	全 国	全国順位	
水産加工	総額	150 百万円	175,132 百万円	36
	事業体数	10 事業体	1,500 事業体	28
漁家民宿	総額	201 百万円	6,659 百万円	10 *
	経営体数	30 経営体	900 経営体	8 *

出典：「令和元年度6次産業化総合調査」

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

東京都の農林水産業の話題等

東京都エコ農産物認証制度

都は、安全・安心な農産物を消費者に届けるとともに環境に負荷をかけない農業を推進するため、「東京都エコ農産物認証制度」を開始。

◆制度のポイント◆

①東京都エコ農産物は、土づくりの技術や化学合成農薬と化学肥料削減の技術を導入し、都の慣行使用基準* から化学合成農薬と化学肥料を削減して作られる農産物。化学合成農薬と化学肥料の削減割合は、25%以上、50%以上、不使用の3区分で認証。

* 慣行使用基準とは、都内の通常の栽培における化学合成農薬と化学肥料の使用実態を調査して決定。

②都が、認証農産物の安全性を確認しPR。農産物の栽培状況を確認するとともに残留農薬分析を実施して、都のホームページで情報提供。

③生産者は、認証農産物に認証マークをつけて販売が可能。都は、認証農産物のPRに努め、販路拡大のため、食品事業者や消費者へ認証マークと制度の周知を図っている。



認証区分		化学合成農薬の削減割合		
		25%以上	50%以上	100%(不使用)
化学肥料の削減割合	25%以上	東京エコ25		
	50%以上	東京エコ50		
	100%(不使用)	東京エコ100		
※化学合成農薬と化学肥料の削減割合によって、3つの認証区分に分けられます。				
(養液栽培の場合) 令和元年度から新たに対象になりました				
基準に適合		化学合成農薬の削減割合		
		25%以上	50%以上	100%(不使用)
		東京エコ25 (養液栽培)	東京エコ50(養液栽培)	

「農官学連携エコ堆肥事業」 J A 東京むさし三鷹地区青壮年部

J A 東京むさし三鷹地区青壮年部は、三鷹市内にある東京大学馬術部の馬糞を同地区にある国際基督教大学（ICU）内の敷地を借りて設置した堆肥場へ運び、広大なキャンパス内の大量の落ち葉を活用して堆肥を製造。地域資源を活用して製造した堆肥を「エコ堆肥」として青壮年部員に配布。エコ堆肥を使用して育った農産物を「エコ農産物」として、市内の学校給食に使用したり、小学生に配布している。

令和4年度は、市内小学校でエコ堆肥を使用した教育プログラムを実施予定。各学年の既存の体験授業で実施している朝顔や野菜の栽培等にエコ堆肥を使用。また、校内や周辺の公園の落ち葉集めを行うことで、地域資源を活用した食の循環や環境を意識した緑農教育を実施。



東京大学馬術部